



おせち料理一つ一つ、意味があるそうです。エビは長生き、栗は豊かさ、昆布はよろこぶなど、皆さんはどれを食べますか(写真はイメージ)

〈第七十四回〉

若い人たちに語り継ぎたい、  
次の世代に残しておきたい。  
貴重な話をお届けしますー。

## あすへひとこと

いつの時代までも残したい

### 邑楽町の昔ばなし

#### 健康を意味する黒豆 子孫繁栄のかずのこ

大晦日の大掃除の終わった後、翌日から楽しい正月を待つばかりとなる。正月になると夫婦も子どもも新しい服装に着替え、まず家中でおとそを頂いて祝う。

食事は、わが家では三が日も、朝はうどん食であった。神仏に供えるお供え餅の作り方は母の伝授で、神仏に供えた。

正月料理のおせち料理は全部手作りで、お重に入れる品の数は奇数が縁起が良いと言われていた。「健康を意味する黒豆」「子孫繁栄のかずのこ」「豊年を祈るごまめ」といういわれは祖母が教えてくれた。昔ながらうすときねでついた餅は、きなこ餅、お汁粉。雑煮料理に入れられ、おいしいものであった。

現代の子どもたちは昔の子どもと違い道路に出て晴れ着を着て広場で羽根つきやこま回し、たこ揚げなどに遊び暮らすこともなく家庭に引きこもってしまい、正月料理も簡素化されてきたことは寂しい限りである。

#### さあお正月「畳の入れ替えだ」

「ポンポンポンあたりで餅つききねの音ポンポンポン正月来たれり近くまで喜び迎えやもろともに」師走とも

なると、このような歌が流れてくる何となく気ぜわしい毎日がやってくる。毎年のことながら家の大掃除が大変で、家中の品物を全部外に出しての大掃除である。戸戸を全部閉めて、笹竹で天井まではらい清めるのがしきたりであった。

昔の農家は畳も薄べりと厚床と2種類あって、お正月間際までが薄べりであった。私の家の座敷は、八畳の間が四間あり、それに応接間、お勝手間の全部の畳替えを終えてきれいになった部屋を眺めたとき、安堵の気持ちでいっぱいになるのだった。

正月用の餅つきは隣家と共同でつくので大忙しであった。のし餅が大部分だが、お供え餅も大きな物を作った。また、神様にしめ飾りも作って供えた。女衆は元日を迎えるための料理作りの準備に大変だった。



【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会  
(平成7年3月31日発行「邑楽町の盆と正月(第五集)あすへひとこと」)より

#### ひとりごと From editors

▶広報クイズについて思うことを少し。最近、応募者に「初めまして」のかたを時々お見受けしますが、9割以上のかたは常連さん。いつも広報をくまなく読んで、応募していただきありがとうございます。▶広報クイズは、表紙から裏表紙までしっかりと読めば答えがわかるやさしいクイズです。なので、年代も幅広くご応募いただいています。▶しかし、先月号のクイズの正解者はなんと4人。まさかの大幅な定員割れでした。決してひっかけ問題を出したわけではありません。しっかりと読めば分かったはずなのですが……。▶この編集後記を読んでいる皆さん。ぜひ広報クイズに参加してみてください。過去には応募総数100人を超えたことも。「ひとこと」を必ず添えてぜひ。今年もお待ちしています(小室)



Photo 原田八重子(記録ボランティア)



朝霧  
(多々良沼公園)



## 広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成30年1月号 No.616

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒 370-0692(住所記入不要)

☎ 0276-88-5511(代表)

☎ 0276-47-5007(企画課直通)

☎ 0276-89-0136

☎ http://www.town.ora.gunma.jp  
✉ koho@swan.town.ora.gunma.jp

#### 邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL http://www.town.ora.gunma.jp/k



UD FONT  
by MORISAWA

この広報紙は、見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



この広報紙は、自然保護のため  
植物油インキを使用しています。